



## 体験の風をおこそう

わんパーク大館（県立大館少年自然の家）所長 畠 修

### 1 こんな悩みはありませんか？

「クラスがどうもまとまらない」「話し合い活動がうまくいかない」「学級のスタートに最適な活動はないの？」「自己肯定感をほぐくみたい」「もっと子ども同士が仲良くなってほしい」… これらの悩みを効果的に解決する一つの手立てとして、体験学習があります。

### 2 「かわいい子には体験を！」（独立行政法人 国立青少年教育振興機構HPより）

国立青少年教育振興機構では、子どもの頃の体験（自然体験、友だちとの遊び、地域活動、家族行事など）によって得られる資質・能力について、成人（20代～60代 5,000人）を対象に調査を実施し、あわせて、青少年（小学校4年生から高校生約19,000人）を対象にした意識調査の結果を発表しています。それによりますと…

#### (1) 子どもの頃の体験は豊かな人生の基盤になります。

子どもの頃の体験が豊富な人ほど、大人になってからやる気や生きがいを感じ、さらには「年収が高い」「1ヶ月に読む本が多い」という傾向にあります。

しかも、住んでいる地域による自然体験の頻度に違いはないという結果から、地方に住んでいても周りの大人が体験活動を意識的に仕組んでやる必要があります。自然の家で登山を体験した県北部の小学生の第一声は「あ～、山の空気はやっぱりうまい」でした。

#### (2) 体験活動にはこんな効果が！

子どもの頃に多く体験を行ってきた保護者ほど、子どもの体験を多く行う傾向があります。したがって、これらの活動は、将来の社会につながるものと言えます。さらに体験活動は自己肯定感を高めたり、職業意識や自尊感情が育まれたりするという結果もあります。

### 3 わんパーク大館には楽しい体験メニューがいっぱい！

#### (1) 野外活動では

鳳凰山登山、秋葉山ハイク、ナイトハイク、ウォークラリー、グリーンウォッチング、長木川遊び（カヌー体験、川流れ体験）、野鳥・植物・天体・水生生物等の観察  
キャンプファイヤー、野外炊飯、火おこし体験、テント泊、ドラム缶風呂 ほか

#### (2) 屋内活動では

所内ハイク「大ちゃんを探せ」、スポーツライミング、フォークダンス、パラシュット、大型ジグソーパズル、創作活動、オカリナの絵付けと演奏体験 ほか

### 4 PAで学級集団づくりや人間関係づくりを

この調査では、おしくらまんじゅうのように、子ども同士が触れ合ったり、ルールを話し合ったりしながら友だち関係づくりをするという「遊び」の体験が減っているという現状も

報告されています。これらを解決する手立てとして、わんパーク大館ではPA（プロジェクト・アドベンチャー）を提案しています。

(1) PA（プロジェクト・アドベンチャー）とは「心の冒険」

これは、冒険を基礎にして、わくわくドキドキを引き出しながら、個人の成長とグループ内の人間関係づくりを支援する、現代心理学を活用した体験学習プログラムです。

(2) PAはどうすすめるの？

① 体験器具（エレメント）を使います。

たとえば、ジャイアントシーソーでは、全員がうまく乗れるにはどうしたらいいか自分たちで相談し、その作戦をもとに協力して挑戦します。

② 「ビーイング」という方法で思いを共有します。

責めない、ばかにしない、認め合うなど、お互いの人格を尊重し、お互いの努力を評価しあい、お互いの信頼する心を育みます。さらに、記入した用紙は、その後の学級経営や部活動経営にも使えます。

(3) PAの効果は？

集団の人間関係づくりに効果的ですから、学級づくりや部活動のチームワークづくりにも大変有効な活動です。また、不登校等不適応行動の未然防止の効果も期待できます。

さらに、PAは自然の家職員が進めますから、引率の教員や監督・コーチ・保護者の方々は子どもたちの様子をじっくり観察し、子ども理解をさらに深めることができます。

## 5 わんパーク大館のこれから

大館少年自然の家は、体験活動やキャリア教育の実践の場、家庭教育や地域活動の場、学校や就学前教育のセカンドスクール、健康づくりや憩いの場、いわば「山の学校 みんなの学校」としての役割を果たそうと活動してまいりました。

そして、次年度以降、向かう方向としては次の2点を重点としています。

(1) 多泊型体験学習の推進

県が行った「わんぱく・3ぱく・体験活動プロジェクト事業」の調査・分析によりますと、1泊より2泊、2泊より3泊がいろいろな面で効果的であるという調査結果から、主催事業「3泊4日宿泊体験モデル事業」（仮称）を行い、多泊型体験学習を推進します。

(2) 防災教育の推進

地域防災の拠点として、学校や地域における防災意識の啓発に積極的にお手伝いします。具体的には、避難所体験などを含む防災キャンプの実施を計画しています。

## 6 おわりに

現在、子どもたちの体験が減少している状況の中、子どもたちの健やかな成長を願って、国立青少年教育振興機構では、「体験の風をおこそう」運動を推進しています。

さらに、大館市教育委員会が推進してる「ふるさとキャリア教育」を充実させ、ふるさとを愛し、ふるさとを支えていこうという志をもった子どもたちを育成するために、体験学習が持つ役割は非常に重要であると感じています。

将来にわたって「生きる力」を育むために、

子どもたちに「体験」させるのはいつ？ 今でしょ！